

「スマート農業の高度化に向けたデータ駆動型 土壌メンテナンス」シンポジウム

農研機構では、土壌の状況のセンシングやセンシングしたデータのAI解析により土壌管理を高度化する「データ駆動型土壌メンテナンス」の研究に取り組んでおります。最新の研究状況、関連する技術の実用化状況等を報告するシンポジウムを開催いたします。

日時・開催方法

令和5年11月21日（火） 14:00～16:00
Teams によるオンライン開催

開催挨拶 農研機構 理事 中川路 哲男 14:00～14:05

基調講演 14:05～14:25
農研機構における土壌センシングの取り組み
農研機構農業環境研究部門 所長 山本 勝利

話題提供

- ① 土壌センシングAIシステムの開発 14:25～14:40
農研機構中日本農業研究センター グループ長 大野 智史
- ② 土壌メンテナンスAIシステムの開発 14:40～14:55
農研機構農業ロボティクス研究センター ユニット長 飯嶋 渡
- ③ 土壌病害診断技術ヘソディムによる農薬削減等への取り組み 14:55～15:10
農研機構植物防疫研究部門 グループ長 吉田 重信
- ④ センシング技術を利用した畑作地帯の精密農業 15:10～15:25
株式会社スコーシャ 総合科学研究所 所長 丹羽 勝久
- ⑤ データ駆動型土壌メンテナンスに対する農業現場からの期待 15:25～15:40
農事組合法人たねっこ 代表理事 工藤 修

質疑応答・総合討論 15:40～16:00

参加申込

令和5年11月14日（火）までに、特設サイトにて
お申し込みください。（参加無料 接続PC300台先着順）

[申し込みフォームQRコード⇒](#)

